

通信小海

最も小さい者に

したこと

牧師 水草修治

「そのころ全世界の住民登録をせよという勅令が皇帝アウグストから出た。これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かっていった。ヨセフもガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上っていった。彼は、ダビデの家系であり血筋でもあったので、身重になっているいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。

「今月のみことば」

「ことはば人となって私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。」ヨハネ福音書一章十四節

それで、布にくるんで、飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。」ルカ福音書一章一節から七節

神の御子はお忍びの姿で、地上を訪れにきました。貧しい大工の夫婦の赤ん坊の姿で、いえ、赤ん坊として生まれる前の胎児としてベツレヘムを訪れたのです。もし、天地の神の御子らしく大王として威儀を正して訪れたならば、ベツレヘムのデラックスホテルが主イエスを迎えたのでしょうか。この世で最も小さな者の姿をしてこられたので、主イエスを歓迎する宿屋はただの一つもなかったのです。イエス様は後に、世の終わりの審判について次のような預言をなさいました。(マタイ福音書二十五章です)

人の子(キリスト)が、その栄光を帯びて、すべての御使いたちを伴って来るとき、人の

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時半

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後七時半から八時半

水曜日 祈り会 午後一時半と午後七時半

* 八千穂・海尻・川上でも家庭集会あり。

* 個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

子はその栄光の王位につきまします。そして、すべての国々の民が、その御前に集められます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼らをより分け、羊を自分の右に、山羊を左に置きます。

そうして、王は、その右にいる者たちに言います。「さあわたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。あなたがたは、わたしが空腹であったとき、わたしに食べる物を与え、わたしが渴いていたとき、わたしに飲ませ、わたしが旅人であったとき、わたしに宿を貸し、わたしが裸のとき、わたしに着る物を与え、わたしが病気をしたとき、わたしを見舞い、わたしが牢にいたとき、わたしを訪ねてくれたからです。」

すると、その正しい人たちは、答えて言います。「主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹なのを見て、食べる物を差し上げ、渴いているのを見て、飲ませてあげましたか。いつ、あなたが旅をしておられるときに、泊まらせてあげ、裸なのを見て、着る物を差し上げましたか。また、いつ、私たちは、あなたのご病気やあなたが牢におられるのを見て、お

たずねしましたか。」すると、王は彼らに答えて言います。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」

それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。「のろわれた者ども、わたしから離れて悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ。おまえたちは、わたしが空腹であったとき、食べる物をくれず、渴いていたときにも飲ませず、わたしが旅人であったときにも泊まらせず、裸であったときにも着る物をくれず、病気のときや牢にいたときにもたずねてくれなかつた。」

そのとき、彼らも答えて言います。「主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹であり、渴き、旅をし、裸であり、病気をし、牢におられるのを見て、お世話をしなかつたのでしょうか。」すると王は彼らに答えて言います。「まことに、おまえたちに告げます。おまえたちが、この最も小さい者たちのひとりにしなかつたのは、わたしにしなかつたのです。」

十一月二十三日のクリスマス集会で山谷支援のためカンパをし、一万二千九百九十六円送金できました。感謝です。ですが炊出し用のお米は現状では、二十九日の炊き出しでゼロになります。年末年始の十日間、役所の炊き出しはストップするので、毎日ボランティアでお米をまかないます。一回二百キロを十回で2トンです。寒空の下、空腹で正月を迎えようとしている人たちのために、ご協力をお願いします。

ベツレヘムの宿屋の主人たちは終わりの日に嘆くことになるのでしょうか。イエス様は、あなたの人生をお忍びの最も小さい者の姿をして訪れます。終わりの日に、あなたがその最も小さい者にしたことに応じて、イエス様はあなたに報いてくださいます。

連絡先

小海町役場 九二二二五二五

南牧村社会福祉協議会 九六二二六三三

藤田寛 ヤマト運輸・台東支店止め(着店番

号三一 五)クロネコ宅急便で

カンパ 千振替 二四 四五三七九六

山谷農場

大腸検診を受けて

十一月の初頭「大腸検診の結果、精密検査を受けなければなりません。」という通知を受けた。大腸癌がポリープであろう。精密検査というのは、下から入れるカメラか、バリウムを入れてのレントゲンかどちらかだろうと推測した。

死を自分の現実として考えた。筆者は牧師として人の死には何度も立ち会ってきたが、自分自身の死については別である。通知を受けた翌早朝、いつものように礼拝堂で主の前に静まって祈った。そして、自分の死を思った。「人には一度死ぬこと、死後にさばきを受けることが定まっている」と聖書は宣言しているが、つくづく、自分には神様の前に誇ることできるものは何もないと思った。私の心の中の汚らしい欲望までもさぐりきわめておられる聖なる審判者者の前に出されたら、私は

まちがいなく有罪判決を受けなければならぬ。主はおっしゃる「だれでも情欲をいだいて女を見る者はすでに心の中で姦淫を犯したのです。」「兄弟に向かって腹を立てる者は、だれでもさばきを受けなければならぬ。兄弟に向かって能無しというようなものは、最高議事に引き渡されます。また、ばか者というようなものは燃えるゲヘナに投げ込まれます。」

こんな自分がどうして、神の前に罪赦されるか。神の御子イエスキリストの十字架の死による罪のあがないによるほかないことは明白だった。改めて主の十字架を感謝した。

死と死後の問題は解決している。教会の牧師の代わりは適任者が送られるだろう。しかし、おさない子どもたちを抱える妻を残していくのは無責任と思われ、不憫と感じた。もし実際に大腸癌であるならば、主の御力でいやしてくださいと祈った。

精密検査の結果は、マイナス。心配なしとのことである。今回、主イエスの十字架ゆえに罪赦されてあることを感謝し、一日一日のいのちを感謝することを学んだ。

アーキもちよかった たのしかった 福音指圧教室

日時 十二月十五日(日)

午後二時から三時半

*お一人でのご参加も歓迎。

*持ち物バスタオル・くつした

*無料です

雪も積もって。いかがお過ごしですか。寒さはからだにこたえます。腰痛、肩こり、ひざの痛み。腰痛持ちの私は、家内といっしょに教わって、たいへん重宝しています。

たのしい指圧教室で指圧を教わりましょう。気楽におたずねください。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者がひとりとして滅びることなく永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ三六

クリスマスの特集

彼女に対してどうやって責任を取るつもりですか。彼女の将来はたいへんむずかしくなるでしょう。

また、あなたが結婚前に死んだとき、もし彼女があなたの子どもをおなかに宿していた場合どうなりますか。彼女に、その子の養育の責任を押し付けるのですか？それとも彼女に、おなかの子を殺すという恐ろしい罪を犯させるのですか？

もしあなたが彼女を誠実に愛しているというならば、彼女の幸福を真剣に考えるでしょう。彼女の幸福を真剣に考え、自分がいのちかぎりある存在であることをわきまえるなら、同棲や婚前セックスはできないと私は思います。

「あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いつたいたののようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現われて、それから消えてしまふ霧にすぎません。むしろ、あなたがたはこう言うべきです。『主のみこころなら、私たちは生きていて、このことを、または、あのことをしよう。』と、こころがこのとおり、あなたが

たはむなししい誇りをもって高ぶっています。そのような高ぶりは、すべて悪いことです。こういうわけで、なすべき正しいことを知っていないながら行なわれないなら、それはその人の罪です。」(ヤコブ書四十四 十七)

高ぶり、傲慢とはどういうことでしょうか。自分が他の人よりも財産があるということとで貧乏な人々を低く見ること、これも高ぶりです。自分が名門であるとして、他家を見下すこと、これも高ぶりです。自分が学問や学歴があることをもってふくれあがる、これも高ぶりです。自分が美貌の持ち主であるとして他を見下すこと、これもたかぶりです。

「高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。」(箴言十六十八)

でも、もつと根本的な高ぶりは自分のいのちが、明日あることを当たり前であると思いが上がっていることです。神に許されて、今日もいのちがあることをということを思って、謙虚に、誠実に、そして感謝して生きていきたいものです。